

けいてんちゅうごく

經典

中國

孫維新 朱旭 編著

山田香織 翻訳

上海译文出版社



けいてんちゅうごく

孫維新 朱旭 編著

山田香織 翻訳

經

典

中國



图书在版编目 (CIP) 数据

经典中国/孙维新,朱旭编著;(日)山田香织译.
上海:上海译文出版社,2005.7
ISBN 7-5327-3693-8

I. 经... II. ①孙...②朱...③山田... III. 传统
文化-中国-通俗读物-日文 IV. G12-49

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 022683 号

本书专有出版权

归本社独家所有,非经本社同意不得连载、摘编或复制

经典中国

孙维新 朱 旭 编著

[日]山田香织 译

上海世纪出版集团

译文出版社出版、发行

网址:www.yiwen.com.cn

上海福建中路 193 号

易文网:www.ewen.cc

全国新华书店经销

上海商务联西印刷有限公司印刷

开本 890×1240 1/32 印张 10.25 插页 2 字数 209,000

2005 年 7 月第 1 版 2005 年 7 月第 1 次印刷

印数:0,001—5,100 册

ISBN 7-5327-3693-8/G·127

定价:30.00 元

本书如有缺页、错装或损坏等严重质量问题,请向承印厂联系调换

国際交流活動に参加する方々やグローバル化時代で腕を大いに振るおうと思う学生に、中国の伝統文化を全面的に理解、紹介するために、また外国の友人の皆様が中国の伝統文化を理解するために、小社では「経典中国」(中国語版、英語版と日本語版)を刊行して、古代から現代へと、点を面に広げて、中国の代表的な伝統文化を紹介する次第です。

この本は正史のままで紹介するだけでなく、膨大な史料から多彩な部分を抽出して15編にまとめられ、読者に捧げるのが特色です。



策 划 人：吴文智

特邀编辑：周保雄

责任编辑：朱阿根

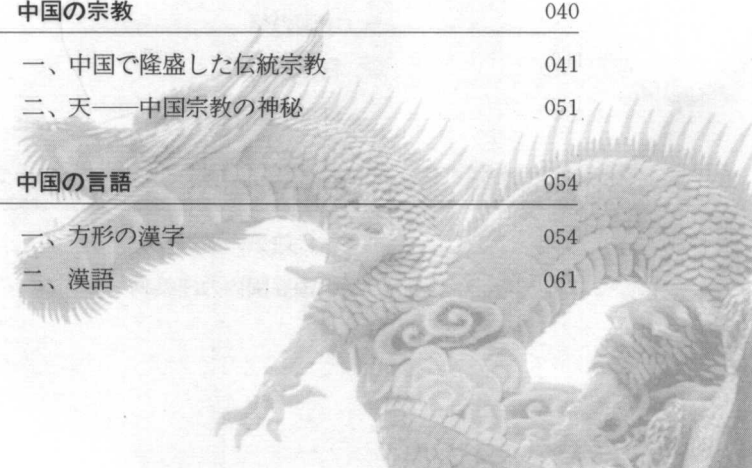
封面设计：许 晶

上海译文出版社

网址：www.yiwen.com.cn

目 録

第 一 章	中国の歴史と文化	001
	一、古い歴史	001
	二、文明発展の足跡	008
	三、古代の代表的な経済と文化	016
第 二 章	中国の哲学	026
	一、知恵を創造した先秦の哲人たち	027
	二、中国哲学の特徴	032
	三、中国哲学思想の精華	034
第 三 章	中国の宗教	040
	一、中国で隆盛した伝統宗教	041
	二、天——中国宗教の神秘	051
第 四 章	中国の言語	054
	一、方形の漢字	054
	二、漢語	061





第五章	中国の文学作品	076
	一、詩経	079
	二、先秦の散文	082
	三、楚辞と漢賦	084
	四、唐詩	088
	五、宋詞	092
	六、明清の小説	094
第六章	中国の古代美術	100
	一、技巧独特な中国画	102
	二、中国の書法芸術	112
第七章	中国の演劇	119
	一、成熟へ	119
	二、魂を込めた演技	126
	三、古代の劇場	134
第八章	中国の歌と舞	142
	一、中国の琴	143
	二、宮廷の歌舞	149
	三、庶民の音楽	158
第九章	中国の古代建築	166
	一、古代建築の発展	167
	二、中国庭園内の建築物	180



	三、中国古代建築の英雄——魯班	186
第 十 章	中国の医学	189
	一、発展の過程	190
	二、古代医学理論	194
	三、歴史に残る名医たち	197
第十一章	中国武術	203
	一、武術の真髓	204
	二、中国武術の文化と精神	214
	三、気功修練について	216
第十二章	中国の飲食文化	219
	一、四大料理	228
	二、茶の文化	233
	三、酒の文化	238
第十三章	中国古代の発明品	245
	一、中国古代の科学技術の特徴	245
	二、知恵の結晶	250
	三、四大発明	262
第十四章	中国の世界遺産	268
	一、文化遺産	269
	二、自然遺産	289
	三、世界自然文化遺産	293



**第十五章****中国の手工芸**

301

一、玉石工芸

301

二、青銅工芸

305

三、磁器工芸

309

四、石彫碑刻

313

五、刺しゅう工芸

317

六、竹編、草編、藤編工芸

321

第一章 中国の歴史と文化

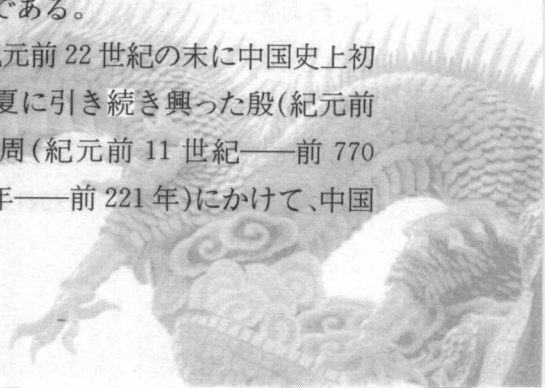
5000 年の中国史概要

一、古い歴史

中国は世界で最も早く文明が発達した国の 1 つである。文字によって見ることのできる歴史がおおよそ 4000 年近くある一方、雲南省元謀で発見された猿人化石「元謀猿人」は今から約 170 万年前のものである。中国には世界で最も早く人類が存在していた。

今から 4、50 万年前に中国北京の周口店一帯に居住していた「北京原人」は、直立歩行し、簡単な道具を作成して使い、また火を利用することも知っていた。つまりヒトとしての基本的特性をすでに備えていたのである。

長い原始社会を経たのち、紀元前 22 世紀の末に中国史上初めての国——夏が登場する。夏に引き続き興った殷（紀元前 17 世紀初——前 11 世紀）、西周（紀元前 11 世紀——前 770 年）から春秋戦国（紀元前 770 年——前 221 年）にかけて、中国





が独立した一個の社会へと変化を続けた時期である。

中国はまた、世界で最も早く経済が発展した国の1つでもある。5～6000年前に黄河流域一帯に居住していた人々は農業を主とし、家畜を育てて生活していた。3千年あまり前の殷の時代にはすでに青銅の精錬技術を持つようになり、また鉄器を使うことも知っていた。白陶や釉陶を作り、織物も発達して世界で最も早く複雑な凹凸を呈する模様織りの技術が生まれていた。

戦国時代(紀元前475年——前221年)、李冰はその息子とともに著名な都江堰の水利工事(現在の四川省成都付近)を行い、灌漑と治水問題を解決した。古代の水利技術はここに1つの大きな成果を見ることができる。驚くべきことに現在に至ってもその働きは失われていない。春秋戦国時代は、思想・学術が飛躍的に発展した時期でもある。様々な学派の偉人たちが或いは政治を或いは社会を大いに論じ、著作を残した。いわゆる「百家争鳴」である。老子、孔子、墨子、孫子など中国の思想哲学を代表する人物はこの時期に現れた。

紀元前221年、秦の王嬴政が諸侯割拠する戦国の時代を終結させ、中国史上初めての統一的中央集権国家——秦を建国し、自らを「始皇帝」と称した。始皇帝は文字、度量衡、貨幣を統一し、郡県制を整えた。そして、あの万里の長城を完成させたことはあまりにも有名である。また咸陽、驪山などの地に大規模な宮殿、陵墓や別荘を建設した。それら地上の建築物は兵火に焼かれすでに失われたが、地下深く埋蔵された品々

は長い時を超えて今に残されている。後の発掘によって発見されたものの例として、始皇帝陵の「兵馬俑」が世界の八大奇跡として特に名高く、その豪壮雄大な姿は国内外からの旅行者を集めている。

秦朝末期、平民出身の劉邦と貴族の將軍項羽は共に秦王朝を倒し、その後両者が覇を争った。数年の後、劉邦は項羽を破って強大な漢王朝を打ち立てた。紀元前 206 年のことである。漢代には中国の農業、手工業、商業が共に大きく発展を遂げた。漢の武帝劉徹が皇帝の位にあった期間(紀元前 140 年——前 87 年)は漢王朝が最も盛んな時期であった。彼は匈奴を平らげ、張騫を使者として西域に遣わし、長安(現在の陝西省西安)から新疆、中央アジアを経て地中海東岸に至る道路、「シルクロード」を開いた。こうして中国のシルク製品がこの路を通り西へ運ばれるようになったのである。

紀元前 33 年に宮女王昭君が命を受けて匈奴の呼韓邪単于に嫁した話は、多民族国家中国の民族共生の逸話として後々まで語り伝えられている。

漢朝は426年間続いたが、紀元 220 年に至って中国史は魏、呉、蜀が並び立つ三国時代(220——280)に入った。三国時代最も傑出した政治家と言え、曹操、諸葛亮、孫権である。曹操は魏を建国した人物で、能力主義に徹して多数の優れた人材を集め、開墾により領土を広げて統一を半ばまで成した。また諸葛亮は蜀の宰相である。千百年来、彼の人徳の高さは後代の人々から敬愛され続け、中国古代の知恵の象徴ともな



っている。孫権は呉を建国した人物である。かつて劉備と協力し、赤壁に曹操の軍を大破したが、彝陵の戦いでは劉備と戦い、これを打ち負かした。孫権は農官を置き、屯田を行って江南の土地開発を促進した。彼らの物語は古典小説の名著『三国志演義』の中に詳しく描かれている。

三国の後、晋(265—420)、南北朝(420—589)、隋(581—618)などの王朝を経て、紀元 618 年に李淵が唐王朝(618—907)を建てた。

李淵の息子である唐の太宗李世民(626—649 年在位)は、後に「貞観の治」と呼ばれる一連の政策を行い、唐を繁栄に導いた。彼は中国史上最も功績のある皇帝の 1 人と言われている。当時の中国の農業、手工業、商業、紡績、染色、陶磁器、製錬、造船などの技術が著しく発展したのは彼の功績と言える。当時、水上陸上の交通が縦横に発達し、日本、朝鮮、インド、ペルシャ、アラブなどの国々と経済、文化において幅広い交流があった。

唐の後、五代十国時代(907—960)を経て、紀元 960 年後周の将軍趙匡胤が政変を起こして皇帝に即位し、宋朝(960—1279)を建てた。

1206 年、チンギスハンは蒙古の各豪族を統一し、モンゴル王国を建国した。彼の孫であるフビライは1271 年中原を制覇して元朝を打ち建て、都を大都(現在の北京)に定めた。

宋、元の時代に工商業と対外貿易は共に非常に発達した。多くの外国人商人や冒険家が次々に中国を訪れ、イタリアの

ベネチアからのマルコ・ポーロもこの時期中国各地を見聞して旅行記を残した。その中に当時の中国の強大さと工商業の繁栄ぶりが詳しく描写されている。

製紙技術と印刷技術、羅針盤、火薬は中国古代科学技術の「四大発明」と言われるが、宋代、元代においてもそれらの技術は発達を続け、世界の文明の発展に大きく貢献した。

1368年、明の太祖朱元璋が南京を首都として明朝(1368—1644)を開いた。その子朱棣は即位後、北京城の堀、宮殿、祭場や廟の大規模な造営を開始し、1421年正式に首都を北京に移した。明代には農業生産と手工業が著しく進歩し、明末にはすでに資本主義の萌芽が見え始めていた。またアジア諸国との往来も頻繁に行われていた。

明朝末期に中国東北部では満州族が力を持ち始めていた。首領ヌルハチが率いた満州族は親子三代にわたる明との戦いの末、1644年に清朝(1644—1911)を開いた。清代において最も著名な皇帝と言えば、康熙帝(1661—1722年在位)と乾隆帝(1735—1796年在位)である。人々はこの2人の統治した時代を「康乾盛世」とたたえた。

1840年のアヘン戦争は中国史における1つの分岐点であると言える。19世紀初頭、イギリスが中国に大量のアヘンを輸出したことにより中国の銀が大量に流出し始め、銀の値が高騰して清政府は財政難に陥った。1839年に清政府が林則徐を広州へ派遣してアヘンの取り締まりを行わせたことから、イギリスはアヘン貿易を保護するため1840年に中国に対



し戦争をしかけた。戦いが始まると林則徐らは勇敢に抵抗したが、腐敗しきって弱体化していた清政府は侵略者であるイギリスに和睦を求め、とうとうイギリス政府の提示した中国にとって屈辱的な『南京条約』を受け入れるに至った。この後、中国は次第に列強による植民地化の道をたどっていったのである。

アヘン戦争後、イギリス、アメリカ、フランス、ロシア、日本等の国々は清政府に対し次々に各種の不平等条約の締結を迫り、国内の領土を「租借地」、「勢力範囲」として占領していった。そのためそのころの中国には封建的な圧政に反対し、外国からの侵略に抵抗しようとする英雄的人物が多数登場した。1851年に洪秀全を指導者として起きた太平天国の農民一揆は、中国近代史上最大の農民による革命運動であった。1911年に孫文を指導者とする資産階級による民主革命——辛亥革命が成功して清王朝の統治が覆され、2千年にわたった中国の封建君主制に終止符が打たれた。しかしながら、資産階級による妥協と譲歩のため、革命の勝利は北洋軍閥の首領袁世凱に篡奪される結果となった。

ロシアに起こった十月革命の影響を受けて、中国でも1919年に愛国の学生たちが反帝国主義と反封建主義を掲げて起き上がった「五四運動」が起き、中国の無産階級も政治の舞台上がり始めた。「五四運動」は中国の革命が旧民主主義革命から新民主主義革命へ移る転換点であり、マルクス・レーニン主義が中国で広がるきっかけになった出来事であった。その

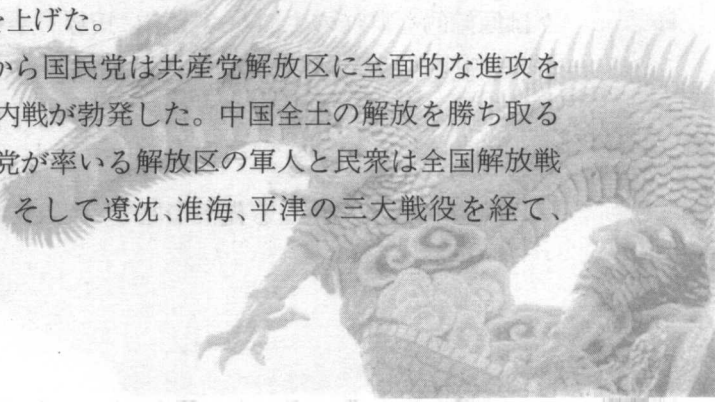
後マルクス・レーニン主義の思想は中国の革命運動の実践と結びつき、思想的にも人材的にも後の中国共産党成立への足がかりとなったのである。

1921年、毛沢東、董必武、陳潭秋、何叔衡、王燾美、鄧恩銘、李達らが各地の共産主義グループを代表して上海で第1回全国代表大会を開き、ここに中国共産党が誕生した。

1924年、中国民主革命の先駆者であり中国国民党創立者であった孫文は、中国共産党と協力して北伐を行うことを決めた。ところが孫文の死後、蒋介石を代表とする国民党右派グループが1927年に政変を起こし、共産党員らを殺害し、南京に国民党政府を創設した。これにより共産党の革命は窮地に追い込まれた。この後、中国共産党は弾圧を受けながらも国民党の統治に抵抗を続ける10年の土地革命戦争に突入したのである。

1937年7月、日本は中国に対し全面的な侵略戦争を始めた。その中で国民党軍は一連の戦役を通じて日本軍に大きな打撃を加え、共産党が率いる八路軍、新四軍もゲリラ戦による後方撓乱で活躍した。共産党軍は極めて過酷な条件のもと大部分の日本軍とほとんど全ての偽軍に攻撃を加え、抗日戦争の勝利に功績を上げた。

1946年6月から国民党は共産党解放区に全面的な進攻を始め、大規模な内戦が勃発した。中国全土の解放を勝ち取るため、中国共産党が率いる解放区の軍人と民衆は全国解放戦争を開始した。そして遼沈、淮海、平津の三大戦役を経て、





1949 年、ついに国民党政府を退けて新民主主義革命の勝利を得たのであった。

二、文明発展の足跡

中国の歴史は、年代順によると以下の時期に分けられる。

先秦時代(紀元前 21 世紀—紀元前 221 年)

秦漢時代(紀元前 221 年—紀元 220 年)

三国兩晉南北朝時代(220 年—589 年)

隋唐五代時代(581 年—960 年)

宋遼西夏金時代(947 年—1279 年)

元朝(1271 年—1368 年)

明朝(1368 年—1644 年)

清朝(1636 年—1911 年)

中華民国(1912 年—1949 年)

中華人民共和國(1949 年 10 月 1 日建国)

先秦時代とは原始社会から戦国時代に至るまでを指す。人々は原始的な群れの生活から次第に氏族社会へと移行し、夏、殷、西周、そして春秋、戦国といった段階を経てきた。先秦時代は中国が原始社会から文明を持つに至るまでの中国史の重要な歴史の一部である。

1800 年の長きにわたる先秦の歴史の中で、中国の祖先たち